(別表)

公共施設等再生可能エネルギー設備導入業務評価基準

１　評価項目及び配点等評価項目

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 評価項目 | 評価視点 | 配点 | 　　　　　　　　　　 |
| 組織に関する視点 | 企業理念、事業実績及び財務状況 | ・明確な企業理念に基づき、本業務にふさわしい組織体制であり、導入実績から見ても業務遂行が可能であるか。・経営状況等、資金調達に問題ない財務状況となっているか。 | ５ |
| 事業所の体制 | ・当市に一番近い事業所の所在地、スタッフ体制等、連絡調整や問題に対し十分に対応できる状況か。 | １０ |
| 再エネ導入可能性調査に関する視点 | システム提案や設備設置の実現性 | ・システム構成、設備設置容量や自家消費量の考え方等、システム提案の内容が明確で実現性があるか。・設備の設置方法は実現性があるか、また安全性が高く、施設への影響が小さいものになっているか。 | １５ |
| 蓄電池の活用による余剰電力の自家消費 | ・蓄電池の活用を含めて、再生可能エネルギーの自家消費が大きいか。 | １０ |
| 非常時のレジリエンス向上 | ・非常時の防災施設の強靭化に資する提案となっているか。 | １０ |
| 実施体制に関する視点 | 工事及び業務遂行能力 | ・無理のない実施体制、スケジュール等となっているか。具体性・妥当性のあるメンテナンス計画、実施体制等となっているか。 | ５ |
| 市内事業者の活用 | ・市内事業者を活用する提案となっているか。 | １０ |
| 事業実施中のリスクに対する対応 | ・事業実施中に発生するリスクについて、対応できる提案となっているか。 | ５ |
| 当市の将来への視点 | コストメリット | ・当市にとって使用電気料金のメリットは高いか。 | １０ |
| エネルギーの地産地消に関する提案 | ・提案者が有する知識や技能、経験等を活かし、当市のゼロカーボンシティの実現及び地域エネルギーの循環に資する提案となっているか  | ２０ |
| 評価点の合計（100点） |

２　評価方法

(1) 各評価項目について、以下の５段階評価を行う。

【配点５点】　　　　　　　　　　【配点１０点】　　　　　　　　　【配点１５点】　　　　　　　　　【配点２０点】

５点：非常に優れている　　　　　１０点：非常に優れている　　　　１５点：非常に優れている　　　　２０点：非常に優れている

４点：優れている　　　　　　　　　８点：優れている　　　　　　　１３点：優れている　　　　　　　１７点：優れている

３点：普通　　　　　　　　　　　　７点：普通　　　　　　　　　　１２点：普通　　　　　　　　　　１５点：普通

２点：やや劣る　　　　　　　　　　６点：やや劣る　　　　　　　　１１点：やや劣る　　　　　　　　１２点：やや劣る

１点：劣る　　　　　　　　　　　　５点：劣る　　　　　　　　　　１０点：劣る　　　　　　　　　　１０点：劣る

３　第１位順位の決定方法

(1) 出席委員の評価点数の合計点が一定点数（６５点×出席委員数）以上かつ出席委員の評価点数の合計点が最も高い提案者を第１位順位（事業予定者）とする。

(2) 第１順位の合計点が同点の場合は、出席委員の多数決により第１位順位を決定する。それでも決しない場合は委員長が第１位順位を決定する